

# 東日本大震災・原発事故から1年

## さよなら原発の声をますます大きく！

### 「さよなら原発4. 1県民大集会inいばらき」の取り組み、各地域ですすむ

石岡では、実行委員会を結成し、平和の会のTさんが事務局長になり、九条の会、民商、新婦人、共同運動連絡会等の5団体が中心となり、大型バスを仕立てて参加する運びとなっています。

土浦では、常任理事の近藤さんを中心に実行委員会を結成し、土曜・日曜日は連日の街頭宣伝、署名行動に取り組んでいます。3月11日は、29人の仲間が、午後1時から3時まで駅前で署名、宣伝行動を行ない、230筆の署名を集約しました。終了後、みんなでお寺に行き、震災からの復興を祈り、鐘突きをしました。

「4. 1県民集会」には、大型バス3台を連ねて参加する計画です。また折り込みチラシを配布してさらに参加者を募っています。実行委員会を毎週開催し、連帯した取り組みを進めています。

笠西平和の会では、かさま九条の会として取り組むことになりました。岩間、友部、笠間でバスを1台出します。幟（のぼり）を3本と、横断幕を作成します。各自でゼッケンを作成し参加することも決まりました。地域へはチラシを配布し、更に参加者を募ります。

また東海村の村上村長の講演会（3/25）、つくばで開催される広瀬隆の講演会（3/20）には、各自が自動車に参加することになりました。

鹿行では、各市から「大型バスで参加しよう」を合い言葉に、各市で実行委員会を結成して取り組んでいます。鹿嶋市では6団体が参加した実行委員会を3月13日に結成し、参加者を名前で確認し、大型バスで参加することを確認しました。

### 東海第二原発を廃炉に」署名の共同提出決まる 最終提出日は 4月11日（水）

第1回目 11年12月10日、第2回目 12年2月10日と、合計10万筆以上を提出してきました。第3回目の提出日が決まりました。最後の共同提出になります。「さよなら原発4. 1県民大集会」と合わせ、署名の取り組みを強化しましょう。地域の人たちに、更に輪を広げ、働きかけましょう。



【2月10日、茨城県庁入札室にて、第2回目の署名提出】



### 鎮魂の祈り

【午後2時46分、被災者やボランティアらの皆さんが海の方を向いて黙とうしました～11日、福島県郡山市富田町若宮前仮設住宅】



\*危険な東海第二原発の再稼働を許さず、廃炉に！  
\*子どもたちの未来と原発マネーは交換できない！

会場への車の進入路は一箇所です

安心してぐらし続けられるいばらきを!!

茨城労働福祉センター  
茨城労連  
TEL029-219-1031  
FAX029-219-1032

さよならいばらき 検索

### 平和新聞

2012年3月15日（木曜日）

1981号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

### 平和かわら版 平和新聞茨城版

No. 619

2012.3/15

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 飛び入りで演奏した

## 『あの日の授業』



### 〜2012百里初午祭りに参加して〜

内原・友部平和の会 柳岡 修二  
.....

祭りの前日、妻と知人Hさんを伴い、理事の川井さん宅に向つた。石狩汁を作る計画で牛乳を調達、それから材料の買い入れに出かけた。奥様の心づくしの手料理に舌鼓を打ち、そのあと全員で野菜を洗い、皮をむいたり刻んだり、下ごしらえをした。川井さんの蒔蓄には驚かされた。自身も『黒板があつたほうが、説明しやすいい。いつか誰でもが知っていた方がいいようなことを教える場を設けようか。』と言っていた。

初午まつり当日、私たちの家族は自分で出店を企画、Hさんに乗せて息子夫婦と妻と私の5人で百里平和公園に向かった。9時40分ごろに到着、さっそく店舗をしつらえ始めた。息子たちは簡易かまどに火をおこし、餅つきの準備を開始。手慣れたものだ。私も息子が小さかつた頃は、何日もついたものだが、今では出番はほとんどない。

内原・友部の平和の会のメンバーが、私たちよりもやや遅れでやってきた。石狩汁が出来上がる頃、お客さんもだいぶ増えてきた。手つきの持ちも盛況で、次々に売れていく。

地元百里の方たちからは、お赤飯と振る舞い酒が回ってきた。簡単なことのようにだがこれだけのことをするのは、手間もお金もかかるし、なかなかできることではない。

中央舞台にあたる稲荷堂前で歌が始まった。飛び入りも自由なので、『あの日の授業』をここでは初公演した。昭和22年に新憲法が制定され、『あたらしい憲法はなし』という題で当時の文部省が中学生の副読本が作られた。この歌には一番と二番、二番と三番の間にセリフが入る。それは、『あたらしい憲法はなし』のなかの憲法九条の解説なのだが、これを大胆にも矢萩弁護士にやってもらったのだ。快く引き受けてくれただけであつて、歌唱の妻もオカリナの私も、いつも以上に気分が乗つた。百里の川井さんに元気になつてもらいたいこととともに、自衛隊がある限り、平和公園がいつまでも存続できることを願う次第である。

# 東日本大震災から1周年

## 3.11を前に、10日に講演会、DVD上映会など開催される

### ☆ 憲法の視点から原発事故を考える

関東弁護士連合会・茨城県弁護士会が主催、水戸で基調講演とパネルディスカッションの催し

基調講演は、原発と地方財政論の第一人者の福島大学副学長・清水修二氏が「惨禍の福島をどう見るか：原発事故と日本国憲法」と題して行いました。被害救済・地域再生のあり方に触れ、被害者同士や地域による対立など深刻な問題についての捉え方についても言及されていました。



### ☆ 「放射線内部被曝から

#### 子どもを守るために」

DVD 家庭栄養研究会食べもの通信社  
全国農村映画協会・企画制作

### 友部図書館で一日通し上映

笠間市立友部図書館視聴覚室で、午前9時から午後4時まで繰り返し上映を行います。約23分間の上映後に参加者の質問や疑問に、日本科学者会議会員の平山守氏・青柳長紀氏・圓道正三氏のお三方が丁寧に解説をつけてくれました。被曝を少しでも減らすために、日々の食生活の工夫とこれからも続く汚染に負けないために、免疫力を上げる食べ方・暮らし方についての貴重な示唆がありました。



# 野口 徳氏の逝去を悼み挽歌を詠む

原水爆禁止茨城県協議会の前会長の野口徳氏の逝去を悼み、奈良達雄さんの詠んだ挽歌を掲載致します。

## 我は忘れず

野口 徳氏を悼む

古河平和の会 奈良 達雄

幾たびも焼津に列を組みし君 びき二記念日に命燃え尽く  
ことあらば年少兵の苦に触れて平和説き継ぐ君にてありき  
核廃絶の旗靡かせて灼ける街 君と歩みき五十年余を  
被爆者募金に汗をいとわぬ君なりき 「カンパの徳さん」と呼ばれ続けて  
限りなき教育・平和への貢献を讃えたかりしに甲辞乞われず  
鉢毒の村に血を引く君と我れ正造の遺志とともに継ぎつ  
人生の大半を君と腕組みし喜び、誇り我れは忘れず



### 原水爆禁止茨城県協議会 (加藤孝夫会長)

「前会長の野口徳さん(享年85歳)は2012年3月1日、治療の甲斐なく、永眠されました。奇しくもビキニデーにお亡くなりになったことは「我々を叱咤激励する」ものを感じ、更なる核兵器のない平和な社会実現のために努力することを誓ひたいいたします。また、長い間、会長として茨城原水協の発展と県西における活動に尽力してくれたことに深く感謝いたします。ここに哀悼の真心を持って報告します。」